

湘南にのみや 議会だより

はみがきのうた



©東京ハイジ



歯の健康フェスタ
6月2日



おくちをあーん

令和元年第2回二宮町議会定例会 (6/7 ~ 6/14)

- ◆ 役場新庁舎設計費約5,000万円を否決 (補正予算) 2~3
- ◆ 陳情6件、墓地条例、高度救急車の契約等 4~5
- ◆ シェアにのみや・特別委員会報告 6
- ◆ 一般質問 (9名) 7~11
- ◆ 栃木県宇都宮市と群馬県板倉町視察報告 12

補正予算

論点は役場

町の回答
過去3年間の実績に基づく。昨年の有料観覧者数約650名を参考に、700名を見積もり、展示ギャラリイの使用料は過去の実績をもとに25日間で想定。学校連携等、無料使用も増やしていきたい。施設管理委託料は、当初予算は週末のみの開館で考えていたが、従前の開館日数とするため増額。

ふたみ記念館
ふたみ記念館は3月議会で改正案が否決となり、観覧券の印刷製本費や、休館日の変更取りやめのため光熱水費、管理委託料を増額。
Q 観覧料と使用料の算出根拠は。

町の回答
一般的なのは一般競争入札だが、事業者の自由な発想、ノウハウ等を審査し決定するプロポーザル方式もある。過去の実績をふまえた指名競争入札等もあり、判断はまだ。

町の回答
2月の説明会、議会の庁舎建設特別委員会等をふまえ、見直したものを反映。次のステップに進むための計上である。
Q 基本設計委託料は入札か。

反対 **反対討論 (坂本)**
国の制度ありきで進んでいることが、町民、議会の理解を得られず、優先順位を間違えたシナリオだ。積み残している課題は山積している。それらのことを説明してから庁舎問題を投げかけるべきだ。一度立ち止まって、町全体を見るべき。

反対 **反対討論 (大沼)**
2件の反対陳情の採択は進めたくないという明確な意思表示である。若い世代の移住と郷土愛をPRする現町政にありながらも、賛否は大きく割れ摩擦を生んでいる。ふるさとになり得る町を進めるなら、抜本的計画の見直しに期待を込め補正予算に反対。

反対 **反対討論 (一石)**
新庁舎建設の合意形成は困難。二宮に特色ある新しい住民自治の機運を活かし、若い方々、社会資源と対話、協働のグランドデザインを築く機と捉え、町長の「町民とともに創るまちづくり」に資する選択を求めむ。

反対 **反対討論 (松崎)**
3月議会以降、特別委員会設置を経て、町民説明会が開かれるも町民が理解できる説明はなかった。シェアにのみやも含め町民からあげられた声は一見混んとしていてもそこにあるのは町政に対する根深い不信感。まずはその払拭を。

反対 **反対討論 (前田)**
3月議会定例会で、本年度一般会計予算から基本設計委託料を削除する修正案が可決された。それからわずか3か月での基本設計委託料を含む補正予算案提出は、議会軽視にあたる。役場庁舎建設は、町民と熟議を重ねてから判断するべきである。

反対 **反対討論 (羽根)**
新庁舎建設は未だ町民の理解を得られていない。小中一貫教育校計画案で施設の統廃合案が示された。庁舎を含めた公共施設の活用を検討する必要がある。町長が町のビジョンを示し、町民と共にまちづくりを進める行政のあり方になるよう強く要望。

陳情
役場庁舎建設についての陳情
大切な暮らしのために町を考えると、災害時の拠点となる地域集会所の耐震化は完了していない。小中一貫教育校設置計画(素案)では、小中学校が空くと示され、庁舎機能の移転も選択肢として検討すべき。「地域に根付いた役場機能の分散化」が必要。行政のデジタル化や学校など、未来に向けた投資をすべき。

陳情項目
① 新庁舎建設計画を一度ストップする。
② 町全体のビジョンを明らかにし、優先順位を付けた公共施設再配置、修繕計画、町有地の活用など、より具体的な財政計画を伴う信頼性の高いまちづくりの表明。

9対4で採択

賛 新たな負債に若い世代の意見を反映すべきと考える。(大沼)
賛 我々の提案も受け付けてほしいという内容と解釈。(根岸)
賛 短期間で1千300集めた署名活動にも敬意を表する。(露木)
賛 町の未来に向けた論点、地域防災に資する実績評価。(一石)
反 いのち・くらしを守る立場でストップに賛同できず。(渡辺)
反 新庁舎建設計画を一度ストップせず進めるべき立場。(小笠原)

他の項目は採択。
反 町民の納得する説明というのは尺度が不明。(根岸)

新庁舎基本設計委託料

6対7で 否決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,986万5千円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ83億1,935万円とするもの。

注目された庁舎関連議案

通常、補正予算の審議は本会議初日に即決する。しかし今議会には補正予算に関連する陳情が2件提出されており、その審査後に補正予算を議決できるよう日程を変更した。

なお、陳情審査の委員会や議会最終日には、幅広い世代の多数の傍聴があり、非常に強い関心を持っていると改めて感じた。

陳情採択、補正予算否決を受け、定例会後の全協（6月25日）で町長が一言

「地域に出向き、新庁舎について丁寧に説明をしたい。地域の夏祭りや、小中一貫教育校の意見交換会等があるため、速やかにはいかないが進めていく」と述べた。

役場新庁舎

新庁舎建設基本設計委託料は、ボーリング調査を追加したほか工事面積を見直し実施。

Q. 2月の説明会資料では、基本設計費は2千5百万円だったが、今回なぜ約5千万円が計上されたのか。

町の回答

2月の説明会資料の額は国の基準で記載。その後、4社から見積りを取り、約5千万円と判明したが資料を修正しなかったミスによるもの。妥当かどうかは職員で確認して見極めていく。基本設計は5千万円以上にはならない（実設計、工事管理費は別途）。

Q. 3月議会で削除した基本設計費を6月議会で計上。町民説明会を経ておらず、議会軽視では。

賛成

賛成討論（小笠原）

行政の仕事は、体の弱いや経済的に困窮している方のために動くことが大前提。二宮西中に役場を持つていくなど、人生100年時代のこの時代に、車に乗れない人への配慮がない。この先、リノベーションしても問題は先送りになるだけ。善は急げ。

賛成

賛成討論（根岸）

庁舎に関して、今回は東大跡地購入時の補正予算提案内容と比較すればいたって健全。私は基本的にシンプルで安全で整理されていて温かく職員の笑顔がある役場であればと考える。しかし責任と保身は違う。町民のよき提案は受け入れるべく向き合え。

賛成

賛成討論（渡辺）

新庁舎整備は「いのちとくらしを守る」ことが最優先。無駄遣いをしない・町民の意見を活かしていくの立場で、スピード感を持って進める必要がある。将来負担は町財政を揺るがすものではないと認識。基本設計段階での町民の合意づくりが重要。

反対

反対討論（露木）

町民の英知を結集し、庁舎、学校、公共施設、地域集会施設の再配置を同じテーブルで議論すべし。町はばらばらで、行き当たりばったり。にも関わらず、それに気付かない町長の舵取りでは、庁舎建設ストップは当然。真摯に町民のほうを向くべき。

陳情

将来を見通した町の持続可能な未来像と財政計画に裏打ちされた庁舎整備を求める陳情
まちづくり工房「しお風」

町から示されている新庁舎建設は住民福祉増進とは言えず、建設費も最小とは言えない。また財源の内訳を変更するなど場当たり的な行政の体質は信頼ができないばかりでなく、業務継続計画と新庁舎の必要性の整合性がない。庁舎整備は町の持続可能な未来像があつてこそで、まず場所と機能を決めることで、最大の効果を発揮できる。

陳情項目

- ①町民が納得する新庁舎建設の必要性の具体的な説明。
- ②将来を見通した持続可能な未来像とその財政計画の作成。
- ③新庁舎を拠点とした町全体の防災、減災の体制整備の説明。

7対6で採択

賛 町への必要性、財政、防災等の説明の要求は妥当。（渡辺）

賛 未だ多くの納得を得ず柔軟な対応が必要と考え賛成。（大沼）

賛 町がいう「庁舎の必要性」はブレており、納得できず。（露木）

賛 役場新庁舎の進め方に疑問との趣旨は同感。（坂本）

賛 行政の批評機能を担う立場で町民の疑問の声を反映。（二石）

反 新庁舎の福祉増進否定と給食センター否定に異議。（小笠原）

反 町民が納得する部分は異なる。

皆さま かからの

陳情と条例

陳情

奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を天然林に戻すことを求める

一般財団法人日本熊森協会
政策により造林された人工林の3分の2が間伐もされず大荒廃している。森林環境税及び森林環境譲与税の両法案により見込まれる、年間約620億円の税収を活用し、一定面積を皆伐し、天然林に戻していくべき。

陳情項目

①奥山等に放置人工林を持つ市町村は、林業用整備だけではなく「奥山全域、尾根筋、沢沿い、急斜面、山の上3分の1」の放置人工林を皆伐し、天然林化するための人材雇用や事業に活用。
②山のない都市部・放置人工林のない市町村は、他市町村の放置人工林の天然林化の支援や、奥山天然林を保全・再生するための環境教育に活用。
5対8不採択

賛 町内活動団体と課題を共有。喫緊の信頼に足る提案内容。(二石)

賛 町の山も竹で覆われ荒れている。陳情は理解できる。(坂本)

反 森林荒廃の対策は森林環境税ではなく一般財源で。(渡辺)

反 人工林の皆伐が天然林再生の実証が得られず不採択。(大沼)

反 税の使途の議論で方向性が見え次第、検討。(羽根)

辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について意見書の採択を求める

陳情第5号
「新しい提案」実行委員会
陳情第6号
全国青年司法書士協議会

辺野古新基地建設の賛否を問う県民投票で、7割以上が反対の意思を示した。国民的議論において普天間基地の代替施設が国内に必要という結論ならば、民主主義及び憲法の規定に基づき、一地域への一方的な押し付けとならぬよう公正で民主的な手続きで決定すること。

陳情項目

①辺野古新基地建設工事を直ちに中止し、普天間

基地を運用停止にすること。

②国民が責任を持って、米軍基地が必要か否か、普天間基地の代替施設が国内に必要か否か当事者意識を持った国民的議論を行うこと。

③(陳情第5号のみ)
国民的議論において普天間基地の代替施設が国内に必要という結論であるなら、沖縄の歴史及び米軍基地の偏在に鑑み、沖縄以外の全国のすべての自治体を等しく候補地とするべし。

第5号 4対9で不採択
第6号 5対8で不採択

賛 戦争体験者を失う今、国境・国策を越えた新たな議論要。(二石)

賛 普天間基地は県・国内の移転によらず撤去すべき。(渡辺)

※5号反対
賛 沖縄の低位所得は基地が多く観光資源に活かさない。(小笠原)

反 報道も含め陳情は現地で聞く生の声と相違を感じる(大沼)

条例

墓地等の経営の許可等に関する条例

墓地、納骨堂及び火葬場の経営許可に際し、手続き、経営主体等の基準等を定めたもの。
全会一致で可決

課を新設するのか。仕事内容は。記載の寺院が墓地を拡大するときに敷地境界75メートルか80メートルで許可はいいかなものか。
A 課はつくらず、環境政策班が担当する。新規に墓地をつくる経営許可と変更、廃止、経営中の動きを見る立ち入りや墓地台帳の管理もしていく。記載寺院の墓地拡張は、周りの賛成によりケース・バイ・ケースとなる。

賛 「将来にわたりこの町の住環境を守っていくために本条例を制定した」とする町長の説明を評価する。(松崎)

賛 一定規模以上の墓地開発について規制強化を評価。引き続き、開発・まちづくりについての条例整備を求める。(渡辺)

賛 権限移譲は県内初だ。

無理のない運用を願う。発端である町へ陳情提言した住民の方にも感謝を申し上げたい。(根岸)

全国知事会の主旨に基づき、日米地位協定の見直しを国に求める意見書の提出

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨(訓練等の速やかな事前情報提供、地位協定の抜本的見直し、事件・事故に対する具体的かつ実効的な防止策、騒音規制など周辺住民の負担軽減、基地の整理・縮小・返還の促進)に基づき日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出するもの。
9対4で可決

その他「子どもたちによたかな学びを保障するために、教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情」が中地区教職員組合から提出され、一石議員が賛成討論、全会一致で採択となった。

救急自動車の購入契約(車両本体)

2台のうち1台が導入後10年経過。走行距離は13万3千キロとなった。昨年12月、修理で1週間の運行停止。さらに4月にも修理を行うなど老朽化が著しいため更新。2社の一般競争入札で、予定価格は2,414万7千円。神奈川県トヨタ(株)直販部が2,052万円(内消費税152万円)で落札。令和元年10月中旬に配備予定。

全会一致で可決

救急自動車用資機材の購入契約(搭載資機材)

上記車両に資機材を搭載する契約を結ぶもの。入札は2社の一般競争入札で、予定価格は1,410万6千円。日本船舶薬品(株)横浜支店が1,285万2千円(内消費税95万2千円)で落札。

全会一致で可決

車両と資機材で計3,337万2千円。
国・県からの補助金は車両と資機材で2,330万円。

新 装 備 の 救 急 自 動 車 購 入 決 定 !



最新の心肺蘇生器でより安心に

新しい救急車になるとどうなるの？

あらゆる路面に対応するため、2輪駆動をフルタイム4輪駆動に。ボディに作業灯と反射テープを張り付けることで、夜間の救急活動がさらに向上。これまで難しいとされていた狭い場所や階段等でも、心肺停止傷病者に胸骨圧迫と人工呼吸が絶え間なく安定してできる自動心肺蘇生器を搭載。

学校給食センター配送車購入契約

現在の配送車は、平成18年3月に納入したもので13年が経過し、長期使用に伴い車両の機能低下が進み更新するもの。2社の一般競争入札で行われ、予定価格は750万5千円で、横浜日野自動車(株)が550万円(内消費税50万円)で落札。環境にやさしい「排出ガス規制対応モデル(令和元年9月1日以降に適用)」を導入するため、納車は令和2年3月末の予定となる。

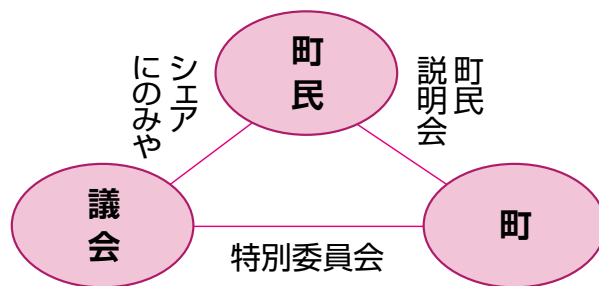
全会一致で可決

各議員の議案・陳情に対する賛成・反対は？

		善波	羽根	松崎	二宮	杉崎	坂本	小笠原	露木	渡辺	大沼	前田	根岸	一石	野地	結果
		宣雄	かほる	健	節子	俊雄	孝也	陶子	佳代	訓任	英樹	一郎	ゆき子	洋子	洋正	
議員提出議案名(左側は議案番号)																
2	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の趣旨に基づいて日米地位協定の見直しを国に求める意見書の提出について	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出議案名(左側は議案番号)																
48	二宮町老人ホーム入所判定委員会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	二宮町予防接種健康被害調査委員会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	二宮町墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	特別職員報酬費用弁償の額並びに支給方法条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52	二宮町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	二宮町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	二宮町火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
55	学校給食センター配送車購入物品供給契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
56	災害対応特殊救急自動車の購入物品供給契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
57	災害対応特殊救急自動車用資機材の購入物品供給契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
58	平成30年度二宮町一般会計補正予算(第1号)	○	●	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	否決
陳情名(左側は陳情番号)																
4	奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
5	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
6	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
7	子どもたちにゆたかな学びを保障するために、教職員定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
8	将来を見通した町の持続可能な未来像と財政計画に裏打ちされた庁舎整備を求める陳情	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
9	役場庁舎建設についての陳情	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※議案について、○は議案に対する賛成(陳情は採択)、●は反対(陳情は不採択)したことを意味しています。議長は採決に加わりません。

新庁舎は 町民と町と



～シエアにのみや～
議会報告会・意見交換会を開催

延べ70人近い町民の皆さまとの 情報共有と対話

4月30日(火)、5月1日(水)2日間、3回にわたり、ラデイアン展示ギャラリーにて『シエアにのみや(議会報告会、意見交換会)』を開催。

議会報告会

主な条例審査結果を説明した他、3月議会の予算審査特別委員会での予算案否決を受けて、その後の本会議で修正動議が出されて役場新庁舎基本設計委託料を除いた予算が可決されたことと、新庁舎にかかる最近の動向、役場新庁舎建設特別委員会が設置された後の行政とのやりとりや、今後のスケジュールなどを報告。



3つのグループに分かれ真剣に話し合う参加者

意見交換会

主に新庁舎建設について、テーブルごとに意見交換の後、論点を整理した。

- ① 少子高齢化社会の中で未来にわたる財政負担への危惧。
- ② 空き校舎を活用するなど、他の選択肢、学校を含む公共施設の統廃合の検討。
- ③ 建設コスト減の可能性。
- ④ 庁舎を含め現状の防災減災体制の強化。
- ⑤ 公共施設再配置計画の根底にあるグランドビジョンを示せ。
- ⑥ 予定地が浸水危険区域であること。

その他では特に職員の働き方、議会、議員のあり方について、より専門的、戦略的な能力を求める等の意見が出された。

議会として責任を果たすべく、引き続き町民の皆さまと情報を共有します。

二宮町役場新庁舎
建設特別委員会 報告

3月議会で、新庁舎の建設について 調査する特別委員会を発足

委員は8名(根岸ゆき子委員長、渡辺訓任副委員長、大沼英樹、小笠原陶子、坂本孝也、露木佳代、羽根かほる、松崎健各議員)3月25日～5月23日の間、勉強会と委員会を各4回開催した。

主な流れ

- ① 3月の当初予算で、議会は新庁舎基本設計委託費約5,000万円の減額を決めた。これを受け、町は特別委員会との協議を経て基本構想・基本計画(案)を修正した上で町民説明会を再び開くことを決めた。
- ② 第2回特別委員会(3/26)で申し入れたことは2か月のやりとりを経て次のような結論を得た。

総事業費26億5千万円→20億円へ
基本構造を免震構造→耐震構造へ
床面積4,800㎡→4,000～4,400㎡へ

Q: 町民説明会の内容は。

A: 基本構想・基本計画(案)変更内容と公共施設全体の考え方を説明。

Q: 今後のスケジュールは。

A: 5月31日、6月1日、2日に町民説明会を開催。基本設計は8月に着手。(※当時の回答)

- ③ 4月11日の勉強会にて、町内在住の一級建築士の方と意見交換。ボーリングによる地質調査の実施を早めることを要望。

委員の共有認識

- 現在の庁舎を使い続けることはできない。
- 委員の考え方はさまざまで、統一した見解には至っていない。

今後

6月議会における補正予算否決の審議結果をふまえて、改めて委員会のあり方と調査事項について協議する。

一般質問

議員名	通告書件名
前田憲一郎	二宮町公共施設再配置・町有地有効活用について伺う
渡辺 訓任	①災害発生時の対応と町民の安全確保について ②国民健康保険税の引き下げを求める
二宮 節子	①消防団の処遇について ②死亡届に伴う、諸手続きの窓口一元化について
小笠原陶子	①誰もが安心して暮らせる生活環境の整備を確実に進めるには ②大人の引きこもりとニートの支援について
羽根かほる	人口増加への取り組みと町の魅力づくり、町のビジョンについて
露木 佳代	庁舎の新築計画について
松崎 健	二宮町中小一貫教育校設置について
一石 洋子	新庁舎建設のヴィジョンを問う
大沼 英樹	①町民サービスと町職員の現状について ②緊急災害への考え方と現在の取り組みを問う

一般質問は、大事な議員活動の一つです。二宮町議会は一問一答方式であり、質問は制限時間内であれば何度でも自由にできます。そのやりとりにもご注目下さい。

※ 記事は本人が作成し、議会での発言および記事内容は、各議員の責任となります。

Q 未利用町有地を町民の利益になるように有効活用していくのか。

A 東京大学果樹園跡地の利用について、小田原厚木道路以北のA地区は、農地として活用し、B・C地区は子どもと共に大人も楽しみ学べる場をコンセプトに多世代交流・多目的利用していくこととし、今年度より、町民有志で組織される協議会による管理運営が開始されている。

国立小児病院跡地の今後の方向性としては、町民や活動団体、民間事業者との連携による、子育て支援施設や漁港と一体となった地域の振興施設などとしての活用は困難であることから、役場庁舎、



前田憲一郎
無所属

Q 町民センター、武道館の敷地と一体的な活用を検討する。

A 地域集会施設は、老朽度合い、利用形態、必要性など、さまざまであり、今後の方向性についても、改修や建て替えの他にも、他の公施設との統合など、さまざまなことが考えられるので、町で考え方を整理した後、速やかに地区毎に協議を開始していく。

Q 設定耐用年数が迫ってきている学校施設に対し、どのような対応をしていくのか。

A 町の計画に基づき来年度と再来年度を目途に、すべての学校施設



築59年の二宮中学校東棟

設の現状を調査するとともに、長寿命化も視野に入れた老朽化対策計画を策定したい。小中一貫教育校設置計画案もふまえ、施設一体型小中一貫教育校の設置に向けて必要となる改修箇所についても調査項目に盛り込む。

Q 袖が浦プールは今後どのようにするのか。

A 議会におけるこれまでの議論も報告しながら、速やかに地区と協議を進め方向性を検討していく。

問

公共施設再配置・
町有地有効活用について

答

有効活用に向け検討する



渡辺 訓任
日本共産党

発災時の対応について

Q 地区の自主防災組織活動マニュアル策定の状況は。人材の確保が地区防災の鍵では。計画は、完璧を期すよりも訓練や話し合いを通して作っていくという観点で進めるべき。

A 4地区が策定済み。目処が立っているのが11地区。今年度中に全地区での計画策定を進める。避難所運営については地区と学校で会議を行っている。

Q 地区本部になっていく地域集会所で未耐震のものがあるが。

A 一時避難場所も併せ、代替施設の使用、防災計画への反映など地区と調整を進める。

Q 大規模地震発災時に庁舎内にいる来庁者

問

- ① 発災時に町民職員どう守る
- ② 国保税子ども均等割減額を

答

- ① 庁舎消防計画等精査し対策
- ② データに基づき研究すすめる

職員の安全は、危機管理として受け止めて急いで進めるべき。仮庁舎などで業務を行う必要があるのでは。

A 瞬時の倒壊は想定しておらず仮庁舎での業務は計画していない。天井など非構造部分崩落の可能性はある。「二宮町庁舎消防計画書」を精査し、庁舎内の整理・什器の固定や、来庁者の安全確保の対策と併せて進める。

国保税の引下げを

Q 国保税が高すぎるという声がある。加入世帯の状況は。

A 高齢世帯が50%を占める一方、子育て世帯は27.7。収納率は94%で上昇傾向。

Q 45%の世帯が軽減措置を受けるのは、制



耐震性の問題指摘から20年未耐震の町役場庁舎

度として問題。国保税が高すぎるのは加入者一人ひとりに課される「均等割」にある。臨時財政対策債の発行を毎年1億円程度抑えているから、その一部を活用し、子どもの均等割の減額を求める。

A 知事会からの提言もあり、国保税の厳しさは認識。データに基づいて研究を進めたい。税の公平性も含めて進める必要がある。



二宮 節子
公明党

消防団の処遇について

Q 阪神淡路大震災において幅広い活動に従事し、数多くの人々を救出した消防団の活躍には目覚ましいものがあった。この活動により、消防団の重要性が再認識され、人材育成を求められているが町の消防団員の人数と将来見通しを聞く。

A 現行は、1分団15名程度で定数は適正だが、将来的には人口減少や高齢化社会で苦慮すると予測する。

Q 機能別消防団は。発足はまだだが、消防団OB活用を検討中。今後は工業団地内の消防団形成を予定。

Q 補償内容の周知は。団員にパンフレットを配っているが、今

問

- ① 消防団の処遇改善は
- ② お悔みコーナー設置は

答

- ① 報酬の引き上げを認識
- ② 既存の受付係を活用する

後は家族の方にも内容の周知に努める。

Q 年額報酬は引き上げないのか。

A 装備品の充実を最優先してきたが、今後はそれに加え年額報酬の引き上げや団員と班長の金額の差を付けるなども課題と認識する。

Q 準中型免許取得費用の補助は。

A 補助はしないが、今後は普通免許で運転可能な3・5トン未満の消防車両に順次更新していく。

お悔みコーナーの設置について

Q 死亡届受付事務の現状と課題を聞く。

A 葬儀社等による死亡届時に、ご遺族への11項目記載案内書を渡している。その後、ご



煩雑な手続きは1か所で行いたい。(写真は別府市役所)

遺族が手続きを行う際に、窓口を移動せず諸届を完了するには、現在の施設および体制では専用窓口設置に課題がある。

Q 町民負担軽減の工夫を聞く。

A 既存の受付係を活用する。

Q 案内書の記載内容に改善が必要では。

A 二度手間を防ぐため、項目の追加とホームページも改良する。



小笠原 陶子
無所属

問

引きこもりの方に偏見を
持たぬよう積極的に支援を

答

各課が県と連携し
丁寧な支援していく

問

人口の社会増に向け
どのような町を目指すのか

答

幸福感・充実感を得られる
町へ総合計画に沿って進める



羽根かほる
無所属

Q 5月28日に川崎市で小学生が刃物で刺された事件があり、その4日後に農林水産省の元事務次官が44歳の息子を刺殺し逮捕された。家庭内暴力を受けていたとされる父親は川崎の事件を見て、息子も危害を加えるかもしれないと危機感を持ったとのこと。こういった事件で引きこもりの当事者や家族は不安や戸惑いを持つ。川崎の事件を引きこもりと短絡的に結びつけると当事者を深く傷つけ、誤解と偏見を助長する。関係団体は声明を発表した。町の現状把握は。

A 国の平成31年3月の生活状況に関する調査報告書では、40歳から64歳で引きこもりの状態にある方を61万3千人と推計。引きこもりはそれぞれの家庭にとって非常にデリケートな問題のため、町で具体的な人数や世帯数の調査を行うことは難しいが、国の調査結果を町内の人数に当てはめると、15歳から39歳の方が96人、40歳から64歳の方が136人と推計される。

Q 町は県とどのように連携支援しているか。
A 生涯学習課では神奈川県西部地域サポートステーションの資料を配布し、相談に応じる。産業振興課では昨年2月に県と共催で中高年のための再就職支援講座を町民センターで開催した。しかし若者就職支援セミナーは申し込み者がキャンセルとなり、参加者ゼロ。

Q 人口の社会減を止める現在の施策はシタイプロモーション戦略と創業時貸付金制度である。他の施策は。
A 通いの場等。地域コミュニティの醸成、災害、犯罪に備える地域づくりを念頭に置き事業を進めている。
Q 聖火リレーは通らない。町の魅力を発信できていないのでは。
A 県内を三日で回るため、選定されなかった。町の良さをさまざまなツールを使って発信していきたい。

Q 学校の統廃合、公共施設再配置計画は施設減少の方向。町民サービスの低下にも見える。町が目指す方向、全体像がわからないと計画を進める根拠がない。どのように町民に説明をするのか。
A 庁舎、教育も未来への投資。子育て世代、子供たちが二宮で育ち、学校に行けて良かったと思ってもらえるまちづくりは大事なひとつ。幸福感の増大、充実感、住んで良かったと思われる魅力ある町を目指したい。

Q 駅前の公民館がなくなり、町民センターは二宮西中へ移る案が出ている。町民がコミュニティを創り、発信できる場を整え、町民と町が共にまちづくりをしていくものではないのか。
A 一定の地域に偏らないよう、地域の方が近くでコミュニティ活動が継続できるように考えている。
Q 現庁舎より小中学校の校舎は築年数を経ている。校舎は古いまま庁舎が新しくなることが幸福感、充実感を生むまちづくりのゴールなのか。
A 生きがいを感じ、健康に暮らし、楽しく子育てをする。この意義を支えるのが公共施設だと考えている。



町民の方の協力で好評な移住者向けセミナー

ひきこもりなどで悩んでいませんか？
～ 各種相談窓口のご案内 ～

ひきこもりなどの悩み相談は…

相談機関	電話	受付時間	備考
かながわ子ども・若者総合相談センター	049-242-9201	9:00～12:00 13:00～16:00	月曜日、年末年始 休み
神奈川県西部青少年サポート相談室	0465-35-9527	10:30～12:00 13:00～16:00	土曜日、日曜日、 祝日、年末年始 休み
川崎市西部地区青少年相談窓口(伊勢原)	070-452-9620	13:00～17:00	(原則)毎月土曜日 休み
川崎市西部地区青少年相談窓口(厚木)	070-449-5970	13:00～17:00	(原則)毎月土曜日 休み

相談場所がすぐわかる一覧表で
きました



露木 佳代
無所属

問
庁舎反対の町民の声を
受け止めているのか

答
庁内では特に議論していない

Q 町民の声について。

A これまで移動町長室や基本構想・基本計画案へのパブリックコメント、町民検討委員会、町民説明会を開催しており、突然の話ではない。「建てる、建てない」の議論まで戻る想定はしていない。今後は各地区に向き意見交換を行う。

Q 建設の反対意見や署名が出されたことについて、町の会議では話し合われたか。

A 特に話していない。

Q 町民説明会開催前に設計費を予算計上したのは町民軽視では。

A 2月の説明会や特別委員会を経て基本設計・基本計画の必要な部分を見直したため、町民の声を受けて計上するという感覚は持ち

合わせていない。

Q 現庁舎の対策は。

A 避難訓練や、什器類の固定等できることを着実に進め、ヘルメットは用意する。早ければ9月議会に対策の方針を示すなり、予算計上するなりしたい。

Q 学校・集会施設・庁舎を同じテーブルで議論すべきでは。

A 学校の議論は時間が必要でタイミングがずれる。未耐震の地域集会施設は早急に検討の必要あり。地域との話し合いを始める。

Q 庁舎とラディアンでは交流は生まれやすい。築50〜60年の2校の改修費に22億かけるより、小中一貫校を新設してラディアン活用

と併せ、魅力ある学校を作るなど将来に投資しては。埼玉県宮代町の笠原小学校は、子ども環境として素晴らしい画期的な設計の校舎。築40年以上経つ今も越境通学希望者や他市町から移住者が多い。

A ラディアン裏は防犯上、検討していない。始めたばかりのコミュニティ・スクールをしつかりやりたい。

【要約】 庁舎は根本から議論をすべき。



地震対策どころか整理整頓もままならない



松崎 健
無所属

問
小中一貫教育校設置計画案では町のビジョンが不明確

答
順番に考えていくことが
ビジョンである

Q 本計画案は教育制度が抱える課題へ対処するだけでなく、若年層人口減少に歯止めをかけるものとしているが、主旨である「質の高い学校教育」等に具体性がなく実効性ある計画案とは思えない。

A この内容だけで効果が上がるとは考えていないが、個性を大切に、指導力を向上させる方向性を示した。とりわけインクルーシブ教育に力を入れたい。

Q 具体的記述が計画の実効性に直結する。グローバル化を背景とした英語教育は町のアピールにつながる。同時に日本人としてのアイデンティティの確立が重要。グローバルズムに流されず、自らの軸をしっかりと持ち、海

外の文化・習慣を理解し、お互いを尊重することが求められる。

A 郷土愛を育むことによる日本人のアイデンティティの確立について、教育委員会として力を尽くしている。副読本「私たちの二宮」もその一つで、英語表記についても検討する。

Q 本計画案策定の背景に単級化と中一ギャップの問題を喫緊の課題として挙げているが、一貫教育校設置までの期間が長い。空き校舎の庁舎利用を妨げる意図的なものか。

A 役場新庁舎整備とは無関係。児童の学びへの支障、他の計画との整合性を図り見込んだ。変動もあり得る。

Q 学校は他の施設・庁舎と切り離してきた



空き校舎を利用した西会津町役場庁舎



一石 洋子
徳清まちづくり運動

問

庁舎は社会資源チームと信頼でグラウンドデザインを！

答

庁舎は災害時の司令塔
町民の英知を結集して創る

問

① 町民と職員の関係について
② 防災への取り組みはどうか

答

① 研修と評価で向上に取り組み
② 悪条件想定でBCPを更新する



大沼 英樹
無所属

町民サービスと町職員の現状について

Q 役場窓口で回答が得られないことで不信感や憤りを耳にする。

A OJT研修や職場外研修で効果的な実践に努め二宮町人材育成基本方針を策定した。

Q 町民に笑顔や喜びを与える働きがいのある仕組みづくりや労働環境への取り組みは。

A 上司と面談を実施し注意を促し、長所を伸ばすなど取り組んでいる。住民対応力にも評価も取り入れ誠実に対応する能力とサービス向上に努めている。

Q ハラスメントや長期療養者の対応は。

A DVD研修を3月に、全職員にアンケート調査を実施済み。長

期療養は状況により分限処分の場合もある。

Q 町民の求めるワンストップサービスは、1回の事務依頼で全てが終わること。現在の庁舎でもすぐに取り組むべきではないか。

A スペースやシステムの問題もあり、受付案内等コンシェルジュ的なものを検討したい。

Q 町長の考える未来のまちづくりにとって一番必要なものは。

A 将来を見据えた役場庁舎の事、町民と職員の安心・安全。

緊急災害への考え方

Q 葛川水位の監視と治水工事の実施は。

A 県の情報、水位計、監視カメラ、目視等で昼夜行っている。県で河床整理掘削を実施し

治水は葛川整備計画を策定、実施時期は未定。

Q 大地震や津波に対する考え方はいかがか。

A 悪条件を想定した職員参集と業務継続計画を早期に策定したい。

Q 未耐震の役場庁舎の現在の対応はどうか。

A 書棚等未固定で危険なものは対応したい。

Q 新庁舎建設に命の危険を提唱しながらも対策をなぜやらないか。

A 消防計画等に基づき避難訓練などソフト面では対応してきた。

Q システムの持続を説明する行政と時代の危機感から、具体の戦略を求める町民とのギャップを感じた町民説明会だった。町長は市民運動出身の稀有な女性首長として陳情者である子育て中のお母さん方の「自分の住む地域を自分たちで創る」というまちづくりの情熱を活かすべき。防災も福祉も教育も地域が鍵で、ケアするまちづくりの局面で若い方々の合意なく建設を進めることを危惧する。

A ラディアン建設時の町民参画も構想は決まっていた。方針と目的は行政が決めた中で、町内の英知を集めた具体の機能設計で使いやすい庁舎を予算内でつくりたい。自分の

今までの経験と何ら変わらぬと考える。

Q 町民はグラウンドヴィジョンを求めている。町長の決断が引き当てた鉱脈を活かしては。

A プロセスは経ているし、新庁舎建設の効果の説明も丁寧にする。

Q 新しい手段よりも住民が本場に自分たちで町を創るといふ機運が目的で重要では。

A 庁舎に求められる基本的な部分は町民の損失を防ぐ防災拠点。地域の防災も含め一緒に創ることを否定してはいないし歓迎する。

Q 説明よりも聴くことでもっと良い計画と合意形成ができる。町民は本当に良い計画に税を使いたい。東日本大震災被災地支援の経

験に根差した二宮在住の社会企業家は「事業には人の考えを変え習慣を変える力がある」として建築の再生によってコミュニティをデザインするさきがけとして活躍する。二宮に特色ある他多くの人材をつなぎ活かしたい。紫波町オガールプロジェクトの事例は顔の見える二宮版官民連携を示唆する。

A 民間の知識、構想は参考にしていきたい。



30年後をみんなで表現
柏こどもまちづくり会議



反対には理由があります
町の未来が大切だからです

見て、聞いて、学んできました！ 宇都宮の商店街と板倉町役場

総務建設経済常任委員会報告

地元の事業者＆若い起業者で商店街を再生！

5月16日 栃木県宇都宮市商店街視察

ユニオン通り・オリオン通り商店街を視察し「ほっとステーション」にて、宇都宮ユニオン通り商店街振興組合の皆さまと意見交換をした。ユニオン通りは、空き店舗が発生しないよう賃貸するなど、店舗所有者が市内外の新規開業者を積極的に受け入れ、商店街の循環に力を入れる。若い世代の集客に成功している。また休憩スペースの椅子・テーブルを宇都宮まちづくり推進機構（NPO）が提供し、店が管理する「オープンカフェ事業」は、新たなにぎわいの創出や回遊性の向上を目的としている。



子どもから高齢者まで誰もが自由に利用できる「ほっとステーション」。商店街が管理し、コミュニティの活性化に寄与。

【まとめ】 町内外をターゲットに、今ある資源に付加価値をつけ、楽しい魅力創造、発信が不可欠を再認識した。視察後、委員会を開催し、吾妻山を中心とした産業振興について、町商工会と連携し調査・研究を進めていく。

2月に開庁した20億円の役場庁舎見てきました！



広さが十分ある相談窓口

5月17日 群馬県板倉町役場新庁舎視察

建坪4,000㎡、総事業費20億円。町内全域が渡良瀬川と利根川の合流域。水害防止のため1mかさ上げし電気設備は屋上に。

将来の経費を考慮し、太陽光発電は採用せず。雨水再利用、直射日光の遮蔽効果や通風等にも配慮した設計だった。

火災時など、ベランダ代わりに避難することができるひさしの長さが特徴的



市民に宇都宮の名産品を知ってもらうため、地場産物のアンテナショップをオリオン通りに設置。市民による情報発信を狙う。

宇都宮市のブランドメッセージ

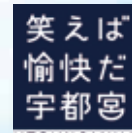
行政、学校、各企業・商店が「○○○愉快だ宇都宮」とブランドメッセージでPRする行政の取り組み。



宇都宮市



老人保健施設
白楽園



宇都宮市立
五代小学校



一般社団法人
緑



編集後記

改選後、早くも3回目の定例会が終わりました。役場新庁舎建設問題を軸に、前回（3月定例会）の予算原案撤回・修正案可決という、二宮町議会史上初のできごとが続きました。今回は、今回（6月定例会）は補正予算否決という異例の結果をもって閉会しました。

この町に吹き始めた新しい風と、新時代の鼓動を臨場感をもってお伝えできるよう、これからも取り組んでまいります。（松崎）

◆表紙は「ニーノとミヤ」でおなじみ東京ハイジさん（アニメーション部門で日本の動画再生回数を誇る「はみがきのうた」のキャラクターです。これも東京ハイジだったの？と驚かたもいらつしやるのでは？表紙のQRコードを読んでみてください。お子さん、絶対に歯磨きしますよ！



ご意見はこちら

編集委員
委員長 露木 佳代
副委員長 羽根かほる
委員 松崎 健
杉崎 俊雄
二宮 節子
根岸ゆき子